

CDを聞く

| |
|--|
| <p>次のCDを再生できます。</p> <ul style="list-style-type: none">市販の音楽用CD（CD-DA） CD-R/CD-RW（CD-DAフォーマットで記録） CD-R/CD-RW（MP3オーディオファイルデータを形式で記録） |
|--|

- 「押す 開/閉▲」**を押して、CDふたを開ける。



- ディスクを入れ、CDふたを開める。**「カチャッ」と音がするまでディスクの中央部を押して回転部に装着し、手でふたを開めます。「押す 開/閉▲」を押し込んで、ふたをしっかりと閉めてください。文字がある面を上



- ▶II（CD再生/一時停止）ボタン**を押す。

再生が始まり、表示窓に再生経過時間が表示されます。

| | |
|-----------|---------------|
| CD再生/一時停止 | 表示窓(音楽用CDの場合) |
| | |

ご注意

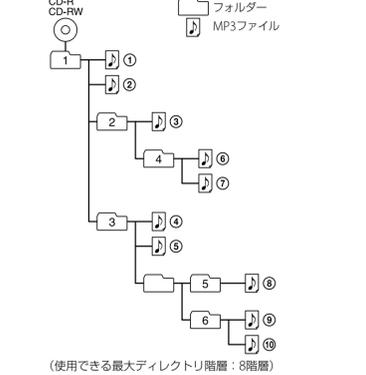
- CD再生中はCDふたを開けないでください。

- ♪ ちょっと一言**
- MP3ファイルの再生中は、表示窓に「MP3」が表示されます。

| | |
|-------------------------|---|
| したいこと | 操作 |
| 音量を調節する | 音量＋または－ボタンを押す。表示窓に「VOL」が表示されます。 |
| 再生をやめる | ■（停止）ボタンを押す。 |
| 再生中一時停止する | ▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押す。もう1度押すと再生が始まります。 |
| 次の曲へ進む | ▶II（CD再生/一時停止）ボタンを強く押す。もう1度押すと再生が始まります。 |
| 曲の頭に戻る | 曲送り◀▶ボタンを強く押す。 |
| 曲を聞きながら聞きたい部分を探す | 曲送り◀▶ボタンを短く押す。 |
| 表示窓の再生時間を見ながら聞きたい部分を探す | 再生中に曲送り▶IIまたは▶II▶ボタンを押し続ける。 |
| MP3ディスク内のフォルダーを選ぶ | 再生中に曲送り▶IIまたは▶II▶ボタンを押し続ける。 |
| ディスクを取り出す | 再生中または一時停止中に曲送り▶IIまたは▶II▶ボタンを押し続ける。 |
| CDの全曲数と全再生時間を調べる | 再生中に「SHUF」の表示が消えるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。 |
| MP3ディスクの全フォルダー数と全曲数を調べる | 再生中に「SHUF」の表示が消えるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。 |
| 再生中に曲番を調べる | 再生中に表示切換/決定ボタンを押す。 |

MP3ファイルの再生の順番について

MP3ファイルを記録したディスクでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。下記のディスクの例では、①から⑩の順にファイルが再生されます。



MP3ディスクについてのご注意

- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては、再生が始まるまでに時間がかかったり、再生されない場合もあります。
- 本機は、ディスク上のフォルダーを最大99個まで、ファイルを最大413個まで認識します。
- ディスクの作成時には、MP3以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダーを書き込まないでください。
- MP3ファイルがないフォルダーは飛ばして再生されます。
- MP3ファイルには「.mp3」の拡張子を付けてください。ただし、MP3以外のフォーマットのファイルに「.mp3」の拡張子を付けても、そのファイルは正しく認識されません。
- MP3 PRO形式のファイルは再生できません。
- 本機が対応する拡張子やフォーマットのファイルがひとつも記録されていないときは、ディスクを入れても「noDISC」が表示されます。

♪ ちょっと一言

- 一度再生を停止し、次に▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押すと、前回再生を停止した曲番より再生されます。停止中は再生中の曲番が表示されます。
- 再生前に1回、■（停止）ボタンを押すと、1曲目の始めより再生されます。

繰り返し聞く(リピート再生)

CDに入っている曲を1曲または全曲繰り返し聞くことができます。

- 停止中に**モード切換ボタン**を押して、以下の操作をする。

| | |
|------------------------------|--|
| モード切換 | |
| リピートの種類 | 操作 |
| 1曲だけ繰り返す | 1 「▶I」に切り換わるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。 <p>2 曲送り▶IIまたは▶II▶ボタンを押して、曲番を選ぶ。</p> |
| 全曲を繰り返す | 1 「▶II」に切り換わるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。 <p>2 「▶II」に切り換わるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。</p> |
| 選んだフォルダー内の全曲を繰り返す(MP3ディスクのみ) | 1 「▶II」に切り換わるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。 <p>2 選局/□+または－ボタンを押して、フォルダーを選ぶ。</p> |

- ▶II（CD再生/一時停止）ボタン**を押す。

再生が始まります。

| | |
|-----------|---------------|
| CD再生/一時停止 | 表示窓(音楽用CDの場合) |
| | |

リピート再生をやめるには停止中に「▶II」の表示が消えるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。

ご注意

- 再生中または一時停止中にリピート再生の設定はできません。

順不同に聞く(シャッフル再生)

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

- 停止中に「SHUF」に切り換わるまで、**モード切換ボタン**を繰り返し押す。

| | |
|-------------------------------|---------------|
| モード切換 | |
| ▶II（CD再生/一時停止）ボタン を押す。 | |
| 再生が始まります。 | |
| CD再生/一時停止 | 表示窓(音楽用CDの場合) |
| | |

シャッフル再生をやめるには停止中に「SHUF」の表示が消えるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。

- シャッフル再生のときは、一度再生を停止し、次に▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

ご注意

- 再生中または一時停止中にシャッフル再生の設定はできません。

♪ ちょっと一言

- シャッフル再生のときは、一度再生を停止し、次に▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)

聞きたい曲を聞きたい順に25曲までプログラム登録することができます。

- 停止中に「PGM」に切り換わるまで、**モード切換ボタン**を繰り返し押す。

| | |
|--|---------------|
| モード切換 | |
| ◀◀または▶▶ボタン を押して曲を選び、 表示切換/決定ボタン を押す。 | |
| 「P-xx」が表示されます(xxはプログラム番号)。 | |
| 表示切換/決定 | 表示窓(音楽用CDの場合) |
| | |

- 引き続き曲を登録する場合は、手順②の操作を繰り返す。

- ▶II（CD再生/一時停止）ボタン**を押す。

| | |
|-----------|---------------|
| CD再生/一時停止 | 表示窓(音楽用CDの場合) |
| | |

プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押すと、同じプログラムをもう一度聞くことができます。

ご注意

- 再生中または一時停止中にプログラム再生の設定はできません。
- CDふたを開けると、そのとき登録されていたプログラムの内容は消えます。

プログラム再生をやめるには

停止中に「PGM」の表示が消えるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。

プログラムを削除するには

再生前には1回、再生中には2回、■（停止）ボタンを押す。そのとき登録されていたプログラムの内容が消えます。

♪ ちょっと一言

- 26曲以降の曲をプログラムすると、「FULL」が表示されます。
- プログラム再生のときは、一度再生を停止し、次に▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

ラジオを聞く

- FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。「FM」または「AM」と、周波数が表示されます。FMとAMを切り換える場合は、再びFM/AMボタンを押します。

| | |
|------------------------------------|-----|
| FM/AM | 表示窓 |
| | |
| 選局/□+または－ボタン を押して、周波数を合わせる。 | |
| 選局/□+または－ | 表示窓 |
| | |

選局/□ボタンを押したままにして、数字が動き始めたら指を離します。受信可能な放送局が見つかると、自動的に周波数の数字が止まります。

- 音量+または－ボタンを押して、音量を調節する。

| | |
|----|-----|
| 音量 | 表示窓 |
| | |

受信状態を良くするには窓際など、電波を受信しやすい場所でお使いください。また、受信したい放送に合わせてアンテナを調整してください。



| | |
|--|--|
| FM放送局 | |
| 本体のロッドアンテナを伸ばし、向きを変えます。FM放送が聞きずらいときは、モード切換ボタンを押して、「ST」と「Mono」を切り換えてください。 | |
| AM放送局 | |
| 本体でも受信状態の良い方向へ向ける。(AMのアンテナは本体に内蔵されています。) | |

| | |
|-------------------------------|---------------|
| モード切換 | |
| ▶II（CD再生/一時停止）ボタン を押す。 | |
| 再生が始まります。 | |
| CD再生/一時停止 | 表示窓(音楽用CDの場合) |
| | |

シャッフル再生をやめるには停止中に「SHUF」の表示が消えるまで、モード切換ボタンを繰り返し押す。

- シャッフル再生のときは、一度再生を停止し、次に▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

ご注意

- 再生中または一時停止中にシャッフル再生の設定はできません。

♪ ちょっと一言

- シャッフル再生のときは、一度再生を停止し、次に▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押しても、停止したところから再生を再開することはできません。

「お気に入りラジオ局」を登録する

よく聞く放送局を、「お気に入りラジオ局」ボタンを押すだけで簡単に登録することができます。FM、AMあわせて3局まで登録できます。

- FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。「FM」または「AM」と、周波数が表示されます。FMとAMを切り換える場合は、再びFM/AMボタンを押します。

| | |
|---|-----|
| 表示切換/決定 | 表示窓 |
| | |
| 選局/□+または－ボタン を押して、登録したい放送局を受信する。 | |
| 選局/□ボタンを押したままにして、数字が動き始めたら指を離します。受信可能な放送局が見つかると、自動的に周波数の数字が止まります。 | |
| ①、②、③のいずれかの「お気に入りラジオ局」ボタン を約2秒間「ビビッ」と音がするまで押す。 | |
| 放送局が登録され、選んだ「お気に入りラジオ局」ボタンの数字が点灯します。 | |
| (例) ①ボタンに登録する場合 | |
| お気に入りラジオ局(登録：長押し) | |
| | |

- 他のボタンに続けて放送局を登録したいときは、手順1～3を繰り返す。

登録済みのボタンに別の放送局を登録するには手順1～3を繰り返す。放送局が登録されると、同じボタンに登録されていた前の局は消えます。

登録したラジオ局を選局する

放送局を登録した「お気に入りラジオ局」ボタンを押して、すぐ指を離す。

放送局を受信します。表示窓には選んだ「お気に入りラジオ局」ボタンの数字と、周波数が表示されます。

ご注意

- 放送局が登録されている「お気に入りラジオ局」ボタンを押したままにすると、受信中の放送局为上書き登録されます。

テープを聞く

| | |
|--|--|
| 操作をする前に、次のことを確認してください。 | |
| <ul style="list-style-type: none">テープはTYPE I（ノーマル）テープをお使いください。本機では、TYPE I（ノーマル）テープ以外のテープは再生できません。 テープが機械に巻き込まれることを防ぐために、鉛筆などでたるみを巻き取ってください。 | |
| <ul style="list-style-type: none">長時間テープは機械に巻き込まれる場合がありますので、90分以下のテープをお使いください。 | |

- ▲（停止/開）ボタン**を押して**①**、カセットを入れ**②**、カセットふたを開める。

| | |
|------------------------|---------------------|
| 停止/開 | |
| 開きたい面を手前に | |
| ▶II（再生）ボタン を押す。 | |
| 再生 | 「カチャッ」と音がするまで強く押し込む |

- ◀（再生）ボタン**を押す。

| | |
|----|-----|
| 再生 | 表示窓 |
| | |

ご注意

- ◀（再生）ボタンと同時に▶（巻戻し）ボタンを押さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

| | |
|------------|---------------------------------|
| したいこと | 操作 |
| 再生をやめる | ■▲（停止/開）ボタンを押す。 |
| 再生中一時停止する | II（一時停止）ボタンを押す。もう1度押すと再生が始まります。 |
| 早送りや巻戻しをする | ◀◀（早送り）または▶▶（巻戻し）ボタンを押す。 |
| 音量を調節する | 音量+または－ボタンを押す。 |

ご注意

- テープの再生中に電源を切ると、故障の原因となります。電源を切る場合は、必ず■▲（停止/開）ボタンで再生を止めてから電源ボタンを押してください。
- テープを巻き終えたら、■▲（停止/開）ボタンを押して、◀◀（早送り）または▶▶（巻戻し）ボタンを解除してください。

テープに録音する

| | |
|---|--|
| 操作をする前に、次のことを確認してください。 | |
| <ul style="list-style-type: none">テープはTYPE I（ノーマル）テープをお使いください。本機では、TYPE I（ノーマル）テープ以外のテープには録音できません。 テープが機械に巻き込まれることを防ぐために、鉛筆などでたるみを巻き取ってください。 | |
| <ul style="list-style-type: none">長時間テープは機械に巻き込まれる場合がありますので、90分以下のテープをお使いください。 カセットのツメ(誤消去防止)が折れていないことを確認してください。 | |

- 録音したい音を準備する。CDを録音するとき
 - CDを入れ、停止しておく。(「CDを聞く」参照)

ラジオを録音するとき

 - 録音したい放送局を受信する。(「ラジオを聞く」参照)

外部機器の音声を録音するとき

 - 本機につないだ外部機器を再生する。(「外部機器をつないで聞く」参照)

- ▲（停止/開）ボタン**を押して**①**、カセットを入れ**②**、カセットふたを開める。

| | |
|----------------------|--|
| 停止/開 | |
| 録音 | |
| ●（録音）ボタン を押す。 | |
| 録音 | |

ご注意

- （録音）ボタンと同時に▶▶（巻戻し）ボタンを押さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

| | |
|-----------|---------------------------------|
| したいこと | 操作 |
| 録音を一時停止する | II（一時停止）ボタンを押す。もう1度押すと録音が始まります。 |
| 録音を途中でやめる | ■▲（停止/開）ボタンを押す。 |

CDの途中から録音するにはCDの再生中、録音を開始したいところで▶II（CD再生/一時停止）ボタンを押して一時停止させ、●（録音）ボタンを押す。

好きな曲順で録音するには聞きたい曲を選んでプログラム登録してから(「聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生)」参照)、●（録音）ボタンを押す。

録音した曲や音声を消去するにはテープに録音した曲や音声を消去するには、上書き録音する必要があります。

- 消去したいカセットを入れる。
- テープファンクション(機能)に切り換えるため、テープを再生してから停止状態にしておく。
- （録音）ボタンを押す。無音状態が録音され、テープ内の曲や音声が上書き消去されます。

♪ ちょっと一言

- AM放送の録音中、手順3で●（録音）ボタンを押したあとに「ピー」という雑音が出たら、モード切換ボタンを繰り返し押して「ISS」を変えてみてください。雑音が減速する場合があります。

外部機器をつないで聞く

| |
|--|
| <p>携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機の音声入力端子につないで、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。つなく前に本機と接続機器の電源を切ってください。</p> |
|--|

- 別売りの機器を本体背面の音声入力端子につなぐ。別売りの音声接続コード(ステレオミニプラグ)を使って、別売りの機器の音声出力端子(ヘッドホン端子など)につなぎます。

| | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 音声入力端子へ | |
| ステレオミニプラグ | 携帯デジタルミュージックプレーヤーなど |
| 2 音声入力ボタン を押す。「AU IN」が表示されます。 | |
| 再生 | 表示窓 |
| | |

- 音声入力ボタンを押す。「AU IN」が表示されます。

| | |
|------|-----|
| 音声入力 | 表示窓 |
| | |

- つないだ機器で再生を始める。本機のスピーカーから音声が出力されます。再生について詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

| | |
|----|-----|
| 音量 | 表示窓 |
| | |

- 音量+または－ボタンを押して、音量を調節する。

ご注意

- 接続した外部機器の出力端子がモノラルジャックの場合は、本機の右側スピーカーから音が出ない場合があります。
- 接続した外部機器の出力端子がLINE OUT端子の場合は、ひずみが発生する場合があります。音がひずんだ場合は、ヘッドホン端子につないでください。
- ミュージックプレーヤーのヘッドホン端子とつないだ場合は、ミュージックプレーヤーの音量を上げてから、本機の音量を調節してください。

ヘッドホンをつないで聞く

- 別売りのヘッドホンを本体背面の◊（ヘッドホン）端子につなぐ。

| | |
|--|-----|
| ◊（ヘッドホン）端子 | |
| 2 再生を始める。 | |
| 3 音量+または－ボタン を押して ① 、カセットを入れ ② 、カセットふたを開める。 | |
| 再生 | 表示窓 |
| | |

- 再生を始める。
- 音量+または－ボタンを押して、音量を調節する。耳を刺さらないように適度な音量で聞いてください。

| | |
|---|-----|
| 音量 | 表示窓 |
| | |
| ① ■▲（停止/開）ボタン を押して ② 、カセットふたを開める。 | |
| 再生 | |

- バックになる音の録音を始める。(「テープに録音する」参照)
 - マイクが拾った音声も一緒に録音されます。
- 録音を途中でやめるには
 - ▲（停止/開）ボタンを押す。

マイクで話す(拡声する)

別売りのマイクをつないで、拡声器として使うことができます。テープまたはCDを一度再生してから停止状態にしてご使用ください。

- 本体背面のミキシングマイク端子にマイクをつなぐ。マイクに電源スイッチがあれば電源を入れます。

- 音量+または－ボタンを押して、音量を調節する。

外部マイクを使う

カラオケをする

別売りのマイクをつないで、CDやテープなどバックになる音に合わせて歌ったり、話したりできます。

- 本体背面のミキシングマイク端子にマイクをつなぐ。マイクに電源スイッチがあれば電源を入れます。

| | |
|--|---------------------|
| 音声入力端子へ | |
| ステレオミニプラグ | 携帯デジタルミュージックプレーヤーなど |
| 2 バックになる音の再生を始める。 | |
| 次の項目をご覧ください。再生を始めてください。 | |
| <ul style="list-style-type: none">「CDを聞く」 「ラジオを聞く」 「テープを聞く」 「外部機器をつないで聞く」 | |

- バックになる音の再生を始める。

次の項目をご覧ください。再生を始めてください。

- 「CDを聞く」
- 「ラジオを聞く」
- 「テープを聞く」
- 「外部機器をつないで聞く」

- 音量+または－ボタンを押して、音量を調節する。

| | |
|----|-----|
| 音量 | 表示窓 |
| | |

| | |
|---|---------------|
| マイク使用上のご注意 | |
| <ul style="list-style-type: none">モノラルタイプのダイナミックマイクもしくは電池駆動方式のマイクをお使いください。 電池を必要とせず、機器のマイク端子から電力を得ることができるマイクの給電方式をプラグインパワー方式と呼びます。本機のミキシングマイク端子はプラグインパワー方式に対応していないため、プラグインパワー方式のマイクは使用できません。 エコー内蔵のマイクは「ピー」という音(ハウリング)を起こしやすいので、音量を小さくしてお使いください。 マイクを使っているときにハウリングが出たら、マイクの頭をスピーカーと違う方向へ向けてください。 モノラルミニプラグ(2極)以外のマイクは使用できません。ご使用になるマイクのプラグをご確認ください。 | |
| 使用できます | モノラルミニプラグ(2極) |
| | 1本線 |
| 使用できません | ステレオミニプラグ(3極) |
| | 2本線 |
| | 3本線以上 |

カラオケやマイクの音声をテープに録音する

BGMに合わせた歌声をカラオケとしてテープに録音することができます。マイクの音声だけを録音することもできます。

- 本体背面のミキシングマイク端子にマイクをつなぐ。マイクに電源スイッチがあれば電源を入